

## PS-200用スライドバイス 取扱説明書

### ■はじめに

「PS-200用スライドバイス」(以下、バイス)をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、十分理解した上で、正しくお使い下さい。

品名	品番
PS-200用スライドバイス	PS-267SV
PS-200用スライドバイス 355	PS-355SV

この取扱説明書は、「PS-200用スライドバイス」を安全にお使い頂き、あなたや他の人々への危害と財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項が記載されております。お読みになった後は、「PS-200用スライドバイス」をご使用される方が、いつでもお読みになれるように、保管しておいて下さい。

わかり易くするための表示と図記号の意味は、次のようになっていますので内容をよく理解してからお読み下さい。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しております。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しております。

なお、「⚠注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも、安全に関する重要な事項が記載されていますので、必ずお守り下さい。

### ■使用目的

「パワーソー200/PS-200」を用いて、水道配水用ポリエチレン管、ガス用ポリエチレン管、硬質ポリ塩化ビニル管を切断する工具。注)「パワーソー200/PS-200」以外の機種での使用はできません。

### ■切断対象材

#### □PS-267SV

対象管 (規格)	呼び	外径	適応する鋸刃
水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K144)	75 ~ 200	89 ~ 250 mm	樹脂管用 PSE0450A (1枚付属)
水道配水用ポリエチレン管 (PWA001)		89 ~ 216 mm	
ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774)			
硬質ポリ塩化ビニル管 VP・HIVP (JIS K 6741)	75 ~ 250	89 ~ 267 mm	塩ビ管用 PSE1450A (別売)
硬質ポリ塩化ビニル管 VU (JIS K 6741)	150~250	165 ~ 267 mm	
硬質ビニル電線管 VE (JIS C 8430)	82	89 mm	

#### □PS-355SV

対象管 (規格)	呼び	外径	適応する鋸刃
水道配水用ポリエチレン管 (JWWA K144)	75 ~ 300	89 ~ 355 mm	樹脂管用 PSE0480A (1枚付属)
水道配水用ポリエチレン管 (PWA001)		89 ~ 315 mm	
ガス用ポリエチレン管 (JIS K 6774)			
硬質ポリ塩化ビニル管 VP・HIVP (JIS K 6741)	75 ~ 300	89 ~ 318 mm	塩ビ管用 PSE1480A (別売)
硬質ポリ塩化ビニル管 VU (JIS K 6741)	150~300	165 ~ 318 mm	
硬質ビニル電線管 VE (JIS C 8430)	82	89 mm	

※硬質ポリ塩化ビニル管 VU (JIS K 6741)の呼び125以下は扁平が大きく、割れる事がありますので切断しないで下さい。  
※商品の仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

## ■安全上のご注意

この取扱説明書に加え「パワーソー200/PS-200」の取扱説明書をお読みの上、十分理解した上で、正しくお使い下さい。

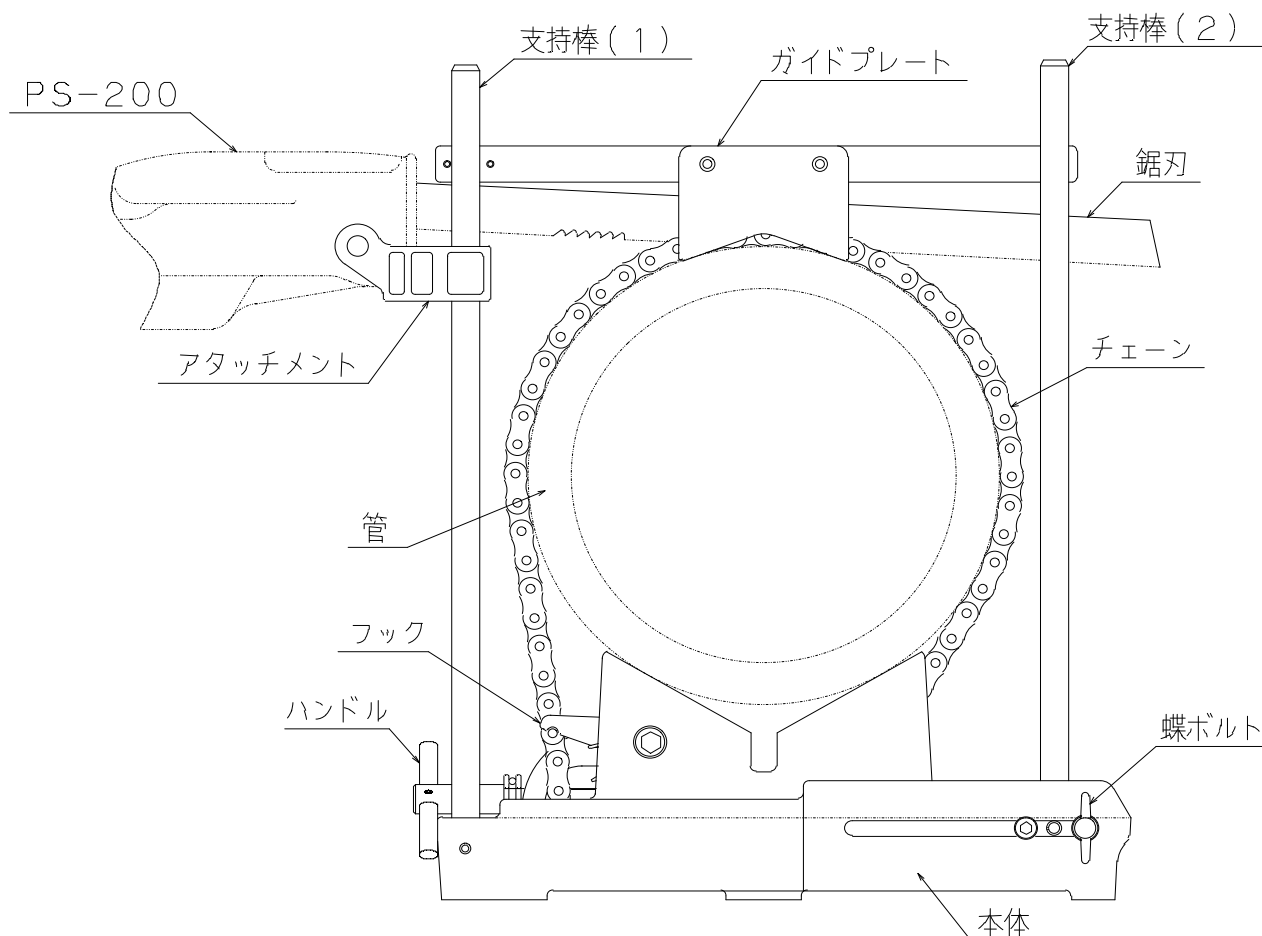
### ⚠ 警告

- ①切断対象材以外の材料の切断には使用しないで下さい。金属管等切断対象材以外の材料を切断するとバイス、及び鋸刃が破損し、事故やケガの恐れがあります。
- ②必ず専用の鋸刃を使用して下さい。他の鋸刃では使用すると管がうまく切断できないばかりか事故を誘発する恐れがあります。
- ③バイスを使用せずに鋸刃のみでの使用はしないで下さい。鋸刃が横振れし、管がうまく切断できないばかりか事故を誘発する恐れがあります。

### ⚠ 注意

- ①工具を落下させないで下さい。破損又は機能に支障が発生する恐れがあります。
- ②管を固定する際、管・バイスが傾かない様に管の下へパイプサポート、添え木、市販のジャッキ等を置き、水平に保った上で切断して下さい。切断中にバイスが転倒し、ケガをする恐れがあります。
- ③この取扱説明書に記載された使用目的、仕様の範囲で使用して下さい。工具を改造したり、使用目的を逸脱することはいけません。工具の故障原因となるばかりか、事故を誘発する恐れがあります。
- ④工具及び管に付着している土や異物は取り除いてから使用して下さい。工具及び管に土や異物が付着したまま切断作業をすると工具や刃が破損したり、切断面が変形する原因となります。
- ⑤工具の各部は常に点検を行い、損傷のある状態では使用しないで下さい。

## ■各部の名称



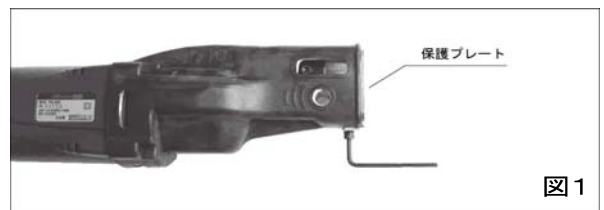
## ■作業の前に（日常の点検・メンテナンス）

- ① パワーソー２００、バイス、鋸刃各部に異物の付着がないか点検し、異物が付着していれば取り除いて下さい。
- ② 各ボルトに緩みがないか点検し、緩みがあれば増し締めして下さい。
- ③ 各 부품の脱落や破損がないか点検し、異常があればお買い求めの販売店に修理を依頼して下さい。
- ④ 鋸刃を点検し、破損があれば鋸刃を交換して下さい。
- ⑤ 保護メガネ等の保護具を着用して下さい。

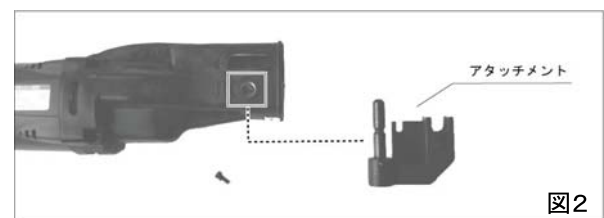
## ■使用方法

### （１）アタッチメントの取り付け

- ① 「パワーソー２００」に取り付けられている「保護プレート」を外します。（図１）



- ② 「アタッチメント」の支持棒を「パワーソー２００」の「支持棒取付け穴」に差し込みます。（図２）



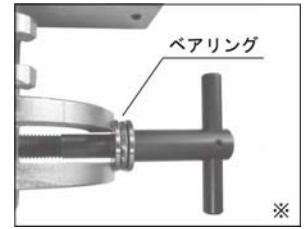
- ③ 「スライドバイス」に付属の「ボルト」、「座金」で、「保護プレート」を止めていたネジ穴に「アタッチメント」を取り付けます。

※ 「保護プレート」は使用しません。また「保護プレート」を止めていた「ボルト」、「バネ座金」は使用しないで下さい。

## (2) 管の固定

- ①「ハンドル」を左に回し、フックを上げます。

※上げ過ぎるとフックが外れます。外れた場合はベアリングがフックを押す様にベアリングを手前にずらし、再びフックをセットして下さい。(※右図参照)

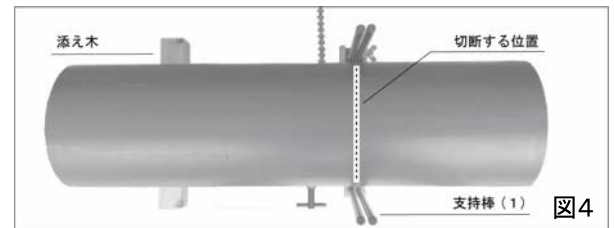


- ②「チェーン」をハンドルの逆側に伸ばします。(図3)



- ③管をV字部へ直角に乗せ、切断する箇所が2本の「支持棒(1)」の間になるようにセットします。(図4)

※長尺管セット時に管・バイスが傾く場合は添え木や市販のジャッキ又は別売りの「パイプサポート/PSS-SV」等で管が水平になる様にセットして下さい。



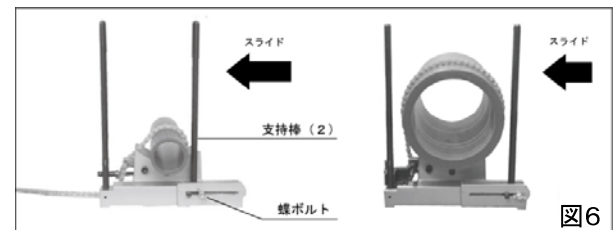
- ④「チェーン」を軽く引っ張りながら管にかぶせ「チェーン」のピンを「フック」にかけた状態で「ハンドル」を右に回して管を「チェーン」で締め付け、しっかり固定します。(図5)

※管がしっかり固定されていない状態での切断は非常に危険です。  
※呼び100以下の管は「チェーン」を強く締め付けすぎると管が変形しやすくなります。



- ⑤「蝶ボルト」を緩め、「支持棒(2)」を管のサイズに合わせてスライドさせます。(図6)

※管に「支持棒(2)」を近づける程、精度良く切断ができます。但し、管に接触させると、振動が大きくなり危険ですので管と「支持棒(2)」とは2~3cm程度離して下さい。



- ⑥「蝶ボルト」をしっかり締め「支持棒(2)」を固定します。

※「蝶ボルト」が緩んだままだと「支持棒(2)」の振動が大きくなり危険です。

### (3) パワーソー２００の取り付け

- ①「鋸刃」を「パワーソー２００」に取り付けます。（パワーソー２００取扱説明書参照）
- ②「パワーソー２００」に取り付けた「アタッチメント」の穴と「支持棒（１）」を合わせ、「鋸刃」を「支持棒（２）」の隙間に入れます。（図７）

※「鋸刃」先端を確実に「支持棒（２）」の隙間に入れてください。  
先端が隙間に入っていないと、切断時に刃が大きく振れ、非常に危険です。

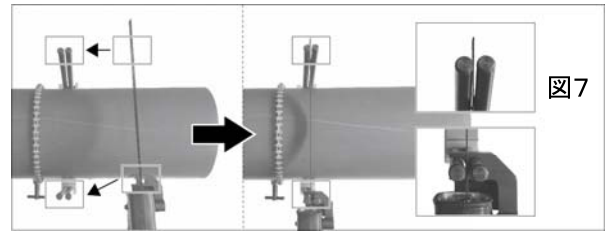


図7

- ③「鋸刃」が管上面に触れるまで降ろした状態で「ガイドプレート」を「鋸刃」に被せるようにセット（「ガイドプレート」にある２本の「ピン」で「支持棒（１）」を挟む）し、「ガイドプレート」のV字部を管上面に当てます。（図８）

※「ガイドプレート」は確実に「各支持棒」の隙間に入れてください。  
※「ガイドプレート」は装着しなくても切断は可能ですが、装着した方が高精度な切断が可能です。

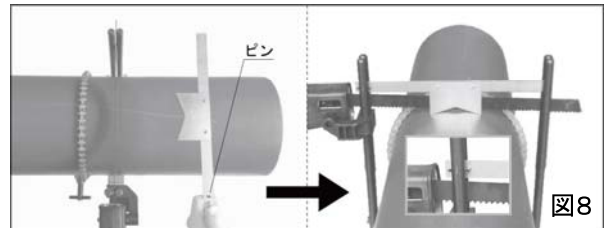


図8

### (4) 切断

- ①下記事項を再度確認します。
  - ・管がしっかりと固定されているか
  - ・「チェーン」に緩みがないか
  - ・「蝶ネジ」に緩みがないか
- ②「パワーソー２００」の「速度調整ダイヤル」を設定します。（下表、図９）

材料	速度調整ダイヤル 目盛
ポリエチレン管	4 ~ 6
塩ビ管	1 ~ 2

※低温時に塩ビ管が割れる場合や、振動が大きい場合は「速度調整ダイヤル」で鋸刃の速度を落として切断して下さい。  
※低温時に塩ビ管端面付近での切断は割れが発生する恐れがありますので十分に注意して下さい。  
※高温時にポリエチレン管の切断は管が溶ける場合があります。その際は切断を止め、管が冷めてから切断を再開してください。



図9

- ③「パワーソー２００」のスイッチを入れ「ハンドル」を少し持ち上げる様にして「パワーソー２００」の自重で切断します。（図１０）

※切断中、「パワーソー２００」を管に無理に押し付けたり、左右に傾けたりしないで下さい。「鋸刃」が曲がり、切断精度の悪化、破損の恐れがあります。  
※切断中は「パワーソー２００」の「ハンドル」から手を離さないで下さい。事故の恐れがあり、大変危険です。



図10

- ④切断が終わったら「パワーソー２００」のスイッチを切り、バースから外します。

## □既設管の切断

既設管を切断する場合はバイスを横向きにセットします。この場合「パワーソー200」は横向きにスライドさせ切断します。(図11)

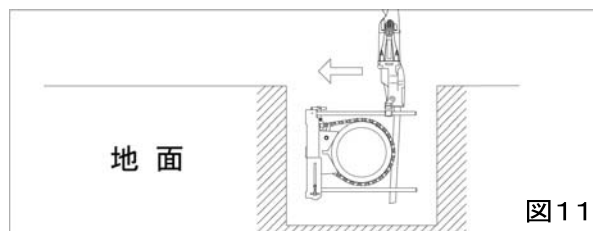


図11

## ■別売品

### □替刃（鋸刃）

替刃をお買い求めの際は下記より選択頂き、品番をご指定下さい。  
交換手順は「パワーソー200」用の取扱説明書を参照下さい。

#### PS-267SV用

品名	品番	入数
PS用 厚鋸刃 450mm×4山（樹脂管）	PSE0450A	3枚
PS用 厚鋸刃 450mm×12山（塩ビ管）	PSE1450A	3枚

#### PS-355SV用

品名	品番	入数
PS用 厚鋸刃 480mm×4山（樹脂管）	PSE0480A	3枚
PS用 厚鋸刃 480mm×12山（塩ビ管）	PSE1480A	3枚

### □パイプサポート

長尺管の切断には便利なパイプサポートがおすすめです。  
ご希望の際は品番にてご指定下さい。



#### PS-267SV、PS-355SV 兼用

品名	品番	入数
PS-200スライドバイス サポート	PSS-SV	1台

株式会社 MCCコーポレーション  
株式会社 松阪鉄工所  
☎ (059) 234-2454  
<http://www.mccc corp.co.jp>